

参 考 資 料

- 別紙第1 掃海艇(16MSC)の概要図
- 別紙第2 主要性能対比
- 別紙第3 基幹部隊の見直し及び主要事業(海上自衛隊)

16MSCの概要図



掃海艇(16MSC)主要性能対比表

		07MSC	16MSC
基準排水量		510トン	570トン
最大速力		14ノット	14ノット
機関形式(軸数)		ディーゼル(2軸)	ディーゼル(2軸)
主要 装 備	砲こう	20ミリ機関砲 1基	20ミリ機関砲 1基
	機雷掃海	係維掃海具 1式	小型係維掃海具 1式
		磁気掃海具 1式	性能向上型低電力磁気掃海具 1式
		音響掃海具 1式	性能向上型低電力音響掃海具 1式
	機雷掃討	機雷処分具 1式	水中航走式機雷掃討具 1式
		水中処分具 1式	水中処分具 1式
	情 報	機雷探知機 1式	機雷探知機 1式
情報処理装置 1式		情報処理装置 1式	
対水上レーダー 1基		対水上レーダー 1基	
その他		1 補助電気推進装置 2 自動艦位保持装置	1 補助電気推進装置 2 自動艦位保持装置

基幹部隊の見直し及び主要事業（海上自衛隊）

区 分		防衛大綱水準	前中期防完成時 (12年度完成時)	中期防完成時	中期防における主要事業	
海上自衛隊	基幹部隊	護衛艦部隊（機動運用） 護衛艦部隊（地方隊） 潜水艦部隊 掃海部隊 陸上哨戒機部隊	4個護衛隊群 7個隊 6個隊 1個掃海隊群 13個隊	4個護衛隊群 8個隊 6個隊 1個掃海隊群 13個隊	4個護衛隊群 7個隊 6個隊 1個掃海隊群 13個隊	・1個護衛隊を廃止
	主要装備	護衛艦 潜水艦 作戦用航空機	約50隻 16隻 約170隻	53隻 16隻 約170機	52隻 16隻 約170機	護衛艦 5隻を整備 潜水艦 5隻を整備 SH-60J及びSH-60J改 39機、 新掃海 輸送ヘリコプター 2機を整備

この他、中期防では、その他の自衛艦15隻を整備。

中期防衛力整備計画（平成13年度～平成17年度）（抜粋）

2 周辺海域の防衛能力及び海上交通の安全確保能力

- (1) 艦艇については、護衛艦、潜水艦、掃海艇、ミサイル艇等を建造する。護衛艦の建造に当たっては、護衛艦部隊全般の効率的な在り方に留意しつつ、更新近代化を推進することとし、特に、ミサイル護衛艦（DDG）については対空能力の充実を図るとともに、ヘリコプター搭載護衛艦（DDH）については指揮通信機能及びヘリコプター運用能力等の充実を図る。
- (2) 航空機については、現有の固定翼哨戒機（P-3C）の能力向上のための改修を引き続き行うとともに、哨戒ヘリコプター（SH-60J及びSH-60J改）及び新掃海輸送ヘリコプターを整備する。